

竹の子だより

第91号 平成25年3月23日(土) 発行

発行責任者 坂井 正志

編集 明星会広報委員会

発行 社会福祉法人 明星会

〒250-0052 神奈川県小田原市府川 752-5

TEL 0465-32-7740 E-mail info@takenokogakuen.jp

FAX 0465-32-7741 HP <http://www.kanagawa-id.org/takenoko/>

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。



梅見～曾我梅林～

新年度に向けて



竹の子学園施設長

坂井 正志

平成二十五年度がスタートし、「障害者総合支援法」が施行されました。正式には、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」という長い名称です。障害支援区分の創設やグループホーム、ケアホームの一元化など変わる部分もあり、地域移行支援、地域生活支援に力を入れたものになっています。ここで、明星会の新年度の取り組みを紹介します。

竹の子学園は、九名のケアホーム移行に伴い、定員を六十名から五十六名へ減らしました。竹の子ケアセンターは、入所からケアホームへ移行した方のために、定員を二十名から三十名へ増やしました。パン工房ハッピーは、厨房業務を始めました。昨年、ハッピーキッチンが委託業者でスタートしましたが、今年度から作業の一環として、パン工房ハッピーの昼食を作ることにしました。ゆくゆくは、見学者のお昼を提供できたら、と考えています。

竹の子ホームは、蓮正寺に新ホーム二か所をスタートさせました。二階建てで、一階は女性の利用者六名で名前が「クルールⅠ」、二階は男性の利用者六名で名前が「クルールⅡ」と言います。「クルール」とはフランス語で「明るい」と言う意味で、明るいホームになればと言う願いを込めています。一階はバリアフリーになっていて、全館スプリングクラーも設置し安全に配慮したホームになっています。相談支援センターエールは、竹の子学園内に事務所がありました。クルールの一階部分に念願の事務所を構え移動します。障害者総合支援法では、相談支援体制の整備をうたっていて、またサービス利用計画の作成も始まっており、エールの重要性が増してきています。ハッピーワンステップ（学習支援・居場所づくり事業）は、昨年度よりモデル事業としてスタートしましたが、今年度から本格的に稼働します。

明星会の今後の課題として、地域移行の推進や、日中活動の充実がありますが、これからも利用者のためにサービスの質の向上を目指していきます。

理事会報告

【平成二十四年度 第二回理事会】が、平成二十五年一月十七日、竹の子学園ヴィーホール二階にて開催されました。

監査内容

- ①前年度 監事監査指摘事項 確認
- ②前年度 県監査指摘事項 確認
- ③平成二十四年度指導監査実施事項等 確認
- ④前年度及び本年度の業務執行状況・財産の状況について監査

【平成二十四年度 第二回評議員会及び第三回理事会】が、平成二十五年一月二十四日、竹の子学園ヴィーホール一階にて開催されました。

議題及び議案

- 第一号 平成二十四年度「学習支援・居場所づくり事業」事業計画
- 第二号 同予算

平成二十四年七月より実施しております神奈川県委託のモデル事業「ハッピー・ONE・STEP」の事業計画及び予算について審議いたしました。

- 第三号 定款変更について
- 社会福祉法人明星会 定款

第五章 公益を目的とする事業

（種別）第二十七条に（ロ）以下を追加する。

（イ）障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業

（ロ）学習支援・居場所づくり事業

第四号 諸規程の改定について

以下の規程について改定します。

- ①「役員の給与等に関する規程」
- ②「役員・嘱託医の報酬に関する規程」
- ③「経理規程」

また「パン工房ハッピー 消防計画」を新規に制定します。

第五号 役員及び評議員の改選について「大内理事が辞任され、後任に小林評議員が就任、田代監事が辞任し、真田英孝氏が就任、また新たに石田久良氏が評議員に就任されます。」

全ての議案について、理事会において承認されました。

また、【平成二十四年度 第四回理事会】が、同じく二月十日に開催され、新役員の互選により、安藤進理事が理事長に指名され、理事長の代理については、坂井理事が指名され、承認されました。



楽しんでいただけたのではないでしょう
か。その他にも、ご協力いただき
ましたTKO様
は、毎年竹の子
祭での販売を心

雨天の中、無事に第十七回竹の子祭を開催することが出来ました。開催につきましてはご協力いただきました近隣の皆様、ボランティアの皆様、関係機関の皆様には厚く御礼を申し上げます。

そんななか、今年も家族会の方々の心のこもった手芸品や作りたての甘酒販売に、バザー品販売を筆頭に、作業班収入であります陶芸七宝体験・販売が例年以上に大人気！皆さん思い思いの作品を真剣なまなざしで作っていたのが印象的でした。模擬店では、新たにお好み焼き串を行ない、食べ物ブースであります食堂也大盛り上がりでした。外部出店では、パルシヤ料理に続きまして、韓国料理の出店もお願いして徐々に国際的になり

第17回 竹の子祭報告

第17回 竹の子祭 売上報告 (円)

施設会計収入	257,150
作業班収入	101,000
パン工房収入	244,990
家族会収入	187,410
合計	790,550

竹の子祭実行委員長 林 政行

待ちにしてくれているお客様がいるという事で、小さい販売スペースながらも、色々な商品を販売して下さいました。それ以外にも、演歌歌手の熊谷ひろみ様、飴細工の中戸川様、加藤商店ふるぎや様、ミスタードーナツ様、ちえの輪ハウス様、リンクライン様、雨天の為披露できませんでしたでしたが、踊って弥雷様、エイサー湘琉会様、汗かき会様。そして、悪天候ながらもご来場して下さいました皆様に感謝するとともに、また来年も、竹の子祭を楽しんで頂けるように、家族会・職員ともども取り組んでいきたいと思いますので、今後とも多くの皆様方のご支援とご協力をお願い致します。



先生のお話の中に「他にとりうる手段があるのに」「漫然と」と言う言葉がたくさん出てきました。長い歴史や経験の中で、疑問に感じる支援があってもその事に慣れ、当たり前になってし

第三十二回家族会・職員合同研修会が二月二十三日に竹の子学園ヴィーホールで開催されました。今年は「障害者虐待防止法について」をテーマに、みなと横浜法律事務所弁護士の内嶋順一先生を講師としてお招きし、ご講演いただきました。

昨年十月より「障害者虐待防止法」が施行された事もあり、家族会の皆さんや職員もとても興味がある内容だったのではないのでしょうか。「身体的虐待」「性的虐待」「心理的虐待」「ネグレクト」「経済的虐待」この五つの虐待の定義の説明や、それに当たりうる例を織り交ぜながらざっくばらんに話して下さいました。先生の話に、皆さん熱心に耳を傾けていました。

職員 家族会 合同研修



てはいけなのではなく「虐待が無い事が当然の事」「障害者虐待防止法を作らなければいけない事自体が悲しい事」という言葉を忘れず、支援者一人ひとりが意識を持って支援に当るように努めていきたいと改めて考えることができた研修となりました。(遠藤)

また、利用者の意思・意向を知る為にはまず「人として尊重して対応すること」の大切さを感じ「自分だったらどう思うか?」「この方ならどうしたいか?」と考える共感力・想像力を磨いていこうと思いました。

法律で決まっているから・警察沙汰になるから虐待してはいけないのではなく「虐待が無い事が当然の事」「障害者虐待防止法を作らなければいけない事自体が悲しい事」という言葉を忘れず、支援者一人ひとりが意識を持って支援に当るように努めていきたいと改めて考えることができた研修となりました。(遠藤)

高ければ、おのずと虐待は起こらない」の言葉の通り、「他に何か良い方法はないだろうか」と常に検討し、より良いサービスを提案する事が虐待を防ぐ事に繋がると学びました。

また、利用者の意思・意向を知る為にはまず「人として尊重して対応すること」の大切さを感じ「自分だったらどう思うか?」「この方ならどうしたいか?」と考える共感力・想像力を磨いていこうと思いました。



あおぞらパーティー

他施設の方と「趣味や特技」をテーマに意見交換をしました。趣味は学園の方と同様、パズルやテレビを観るといった意見が多かったですが、趣味もマンネリ化しているという意見が多く、新しい趣味をどうやって探すかについては興味をもったことをやってみて、趣味にすれば良いと言う意見がありました。とても貴重で有意義な時間でした。

(和田友美)



ケアセンター懇談会



寒い中、次年度事業説明会が二月九日に開催され二十一名の参加がありました。

平成二十五年四月から社会生活を総合的に支援する「障害者総合支援法」が施行し、新たな事業展開や障害福祉サービス利用の流れとサービス等利用計画の説明がありました。ケアの定員が十名増員の三十名体制で送迎増便や活動場所を拡張します。

職場体験受け入れ



「特別支援級の生徒にも職場体験させてあげたい」という先生の思いからスタートしたハッピーでの職場体験受け入れは、今年度で六年目になりました。年数を重ねる今、支援級の方々に交って、普通級の方も体験に来られています。

どの方にも、利用者さんがパンの丸めなどを教えます。パンの丸めは誰でも苦戦する作業なので、丸めができない中学生に向かって、「最初は誰でもそうですよ」と優しく声をかけてくれます。ガチガチに緊張している中学生はその声掛けで少し緊張がほぐれるようです。こんな風に利用者さんの成長ぶりをみることがするのも職場体験ならではのです。

様子を見に来られた先生は「あんなに働くことができるなんて…」と驚かれるくらい、皆さん『働く』という場の雰囲気を感じて少しだけ大人になるようです。

ここでの職場体験が将来の進路を決める時の一つの材料になったら嬉しい限りです。今後も職場体験受け入れを行なっていきたいと思います。

(安藤智美)

退職者紹介



生活支援員 鈴木直子

「おはようございます。」
ケアセンターの一日は、朝の送迎から始まります。センター到着後、連絡帳を確認します。
「元気です。」

「家族で出掛けました。」等々。
ほのぼのとしてつい微笑んでしまう事や支援のあり方について考えさせられる事が、ご家族やご本人より書かれている連絡帳。ご家族の思いが詰まっているこの連絡帳は、私にとってとても大切な物でした。

今後ともご家族とケアセンターを繋ぐ連絡帳が利用者の支援の為に大切な物であつて欲しいと願っています。

利用者の笑顔とご家族の皆様に支えられた八年間でした。ありがとうございます。ございました。

生活支援員 田邊実里



私事ですが、この度結婚することとなり、五年間お世話になりました明星会を退職することとなりました。五年の間に、一・二寮、ケアセンター、竹の子ホームと様々なところで経験させて頂きました。利用者さんの笑顔や、皆さまの心温かいご指導のもと、たくさん成長できた五年間でした。

利用者さんを始め、ご家族、職員皆さまには本当に感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。

地元の南足柄を離れるのはとても寂しいですが、竹の子学園での思い出を胸に、新たな地で頑張っていきたいと思っています。

最後になりましたが、皆さまのご健康とますますのご活躍をお祈りいたします。

新職員紹介



一月より生活支援員として小林智美さんが加わり
ました。
【一言コメント】
一・二寮の生活支援員として働く事になりました。利用者の方がより良い生活を送れるよう支援させていただきます。よろしくお願いします。

**電車一泊旅行**

10月30日～31日に伊豆方面へ電車1泊旅行に出かけました。小田原駅から踊り子号で伊豆熱川駅に到着、ちょうど昼食の時間になり駅前のお店で新鮮な魚の料理を堪能されました。その後、バナナワニ園の広い敷地をいっぱい歩き、電車移動の疲れもでてきた頃、休憩に入った敷地内の喫茶店でフルーツパフェやアイスを食べ、元気復活されたようでした。宿泊先のホテルでは、のんびりと温泉に浸かり旅の疲れを癒されています。ホテルでの食事は全てバイキング形式で、最初は職員に付いて遠慮がちに料理を選ばれていましたが、慣れてくると色々な料理に興味を持ち、1人で好きな料理を積極的に取りに行かれていました。2日目は電車とバスで下田海中水族館に行きました。水族館ではイルカのショーを見学したり、ペンギンの赤ちゃんと記念撮影をしています。家族や自分用にお土産選びも真剣でした。帰りの踊り子号では車窓からの景色も楽しめたようでした。(田中)

**温泉果物狩り一泊旅行**

1月、2月で3グループに分かれて伊豆熱川へ1泊旅行に行ってきました。

1日目は湯ヶ島にある東京ラスク伊豆ファクトリーの工場見学をし、たくさんある種類のラスクをお土産で購入されていました。

今日の宿は熱川ハイツ。全室オーシャンビューで相模湾を眺めながらのんびりと温泉に浸かり日頃の疲れを癒しました。

夜の宴会ではお決まりのカラオケ大会で、利用者さんはそれぞれ十八番の歌を披露して盛り上がりました。

2日目はホテルのすぐ近くにある、太田農園でイチゴ狩りを楽しまれています。今が旬のイチゴはとても甘くつつい食べ過ぎてしまいました。

帰りは雪もちらついていましたが、2日間天候にも恵まれ、春を感じられる旅となりました。また来年も皆さんと行けるといいな！！

(横山)

**ホーム交流会**

2月2日～3日、県西地区グループホーム交流会が1泊で熱海の水葉亭で行なわれました。

参加したホームは7ホームで、利用者、職員合わせて総勢150名が集まりました。竹の子ホームも、利用者19名、職員6名の25名が参加をして交流を深めてきました。私たちは電車で行き天気も良かったので熱海の駅からホテルまで歩きました。交流会が始まるまで温泉に入ったり、のんびりして過ごしました。

さて、18:30になり、待ちに待った宴会です。みなさん、食事をしながら他のホームの方々とお話をされたりして交流を楽しまれていました。

このホーム交流会はなんと、今年で27回目になるそうです。とても歴史があり、驚きました。これから、ますますグループホームも増え、参加が多くなると思います。地域のホーム交流と連携の場の一つとして今後も続けていっていただきたいです。(佐藤光夫)

**パン工房ハッピー 日帰りレク**

2月19日に川崎にある東芝科学館へ行ってきました。

お昼はレストランでランチバイキング。たくさんある料理の中から、自分の好きな物を選んでいる皆さんはとても嬉しそうに輝いていました！

東芝科学館見学では、からくり人形やロボットの動きを見たり、実際に静電気や3D映像の実験を経験し、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

帰りに品川駅でお土産を購入。ご家族などへのお土産を選ぶ姿は皆さんとても真剣でした！帰りの車内では「楽しかったね」「また来年も楽しみだね」という皆さんの声が聞け良い1日になりました。(今野)



ハッピーワンステッ

幸せへの小さな一歩

ハッピーワンステッは、生活保護受給世帯の子どもたちへの「学習支援」と「居場所づくり事業」で、神奈川県からモデル事業として法人が委託を受けて実施しています。

塾に行かずに学校の勉強についていけない状況や、家庭の中での学習環境が整っていない子どもたちを対象に毎週火曜日と木曜日の一七時半～二十時の間、教員OBのコーディネーターの方を中心に、地域の方や学生ボランティア、福祉事務所の「子ども支援員」の皆さんと共に学習会を開いています。不登校だった子どもからの「学校に行き始めた」との報告、他にも「成績が上がった」「進学が決まった」との報告に一同で喜んでいきます。

もうひとつ、「居場所づくり」として家庭用ゲーム機を使って大画面でゲーム大会を行った時、この日ばかりは子どもたちがゲームの先生。大人も子ども一緒に楽しんだ日もありました。

こうしてハッピーワンステッは幸せへ一歩ずつ歩んでいることを実感しています。（露木）

ボランティア募集

明星会では学園行事や定期的にボランティアをして下さる方にボランティア登録をお願いしています。

毎回多くの方々に協力頂き、皆様のおかげでイベントや学園生活が充実し、利用者もボランティアの方と会える事を楽しみにしています。

ボランティア登録カードに、ボランティア可能日・連絡先などを記入し、手続きをおこなっています。

興味のある方はお気軽に担当までご連絡をお願い致します。

◇主なボランティア内容

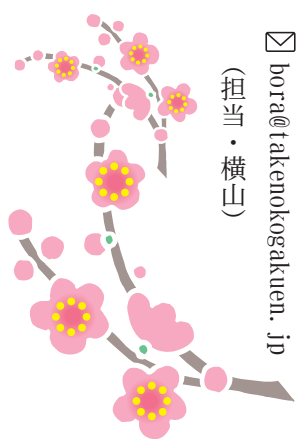
行事（夏祭りやスポーツレク・竹の子祭など）・作業補助・入浴介助・クラブ活動等

◇お問い合わせはこちら

☎〇四六五（三三）七七四〇

✉ bora@takenokogakuen.jp

（担当・横山）



ありがとう

善意の気持ち

▼寄付

洗足こども短期大学様

武蔵野短期大学様

さがみ信用金庫 沼田支店様

（有）豊建築設計事務所様

株安藤石油様

（有）あしがら美装様

（有）小田原消毒様

にじの丘 足柄様

北小田原病院 株中商様

株鈴廣かまぼこ本店様

読売センター小田原城北様

テーマ 春

竹の子日和



絵：H・Misumi
作：M・Okumura

編集後記

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、まだまだ寒い日が続いております。

新年が明け、楽しい行事が盛りだくさんでしたが、そんな中竹の子学園ではインフルエンザが流行していました。慌しい一年の幕開けとなつてしまいましたが、元気に過ごす皆さんを見てみると、どんな病も吹き飛ばせるのではないかとさえ思えます。

来年度も、笑顔溢れる明星会をどうぞ宜しくお願い申し上げます。（石井）

